

神戸港の紹介

＜神戸の経済・産業を支え、賑わいを創出＞

神戸市 港湾局 港湾計画課
令和5年3月14日

目次

1. 港湾の役割
2. 神戸港の紹介（概要や歴史）
3. 港湾機能の強化
4. 港湾の脱炭素化
5. ウォーターフロント再開発
6. 神戸空港の国際化





1. 港湾の役割



(1) 物流拠点

- ・ 日本はエネルギー資源の9割及び食料の6割を海外に依存
- ・ 自動車など製造品の輸出が日本の経済基盤
- ・ その中で港湾は日本の輸出入貨物の99.7%を担う

⇒港湾物流は日本の経済・国民生活にとって極めて重要な存在



(2) 賑わい拠点

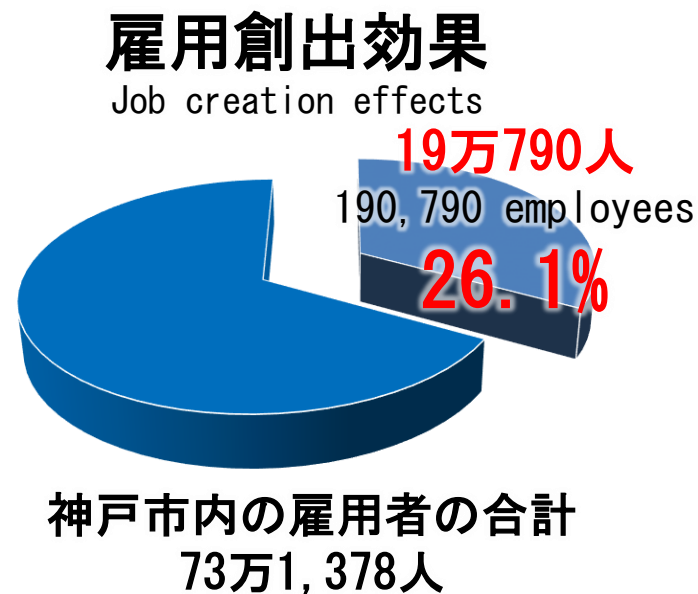
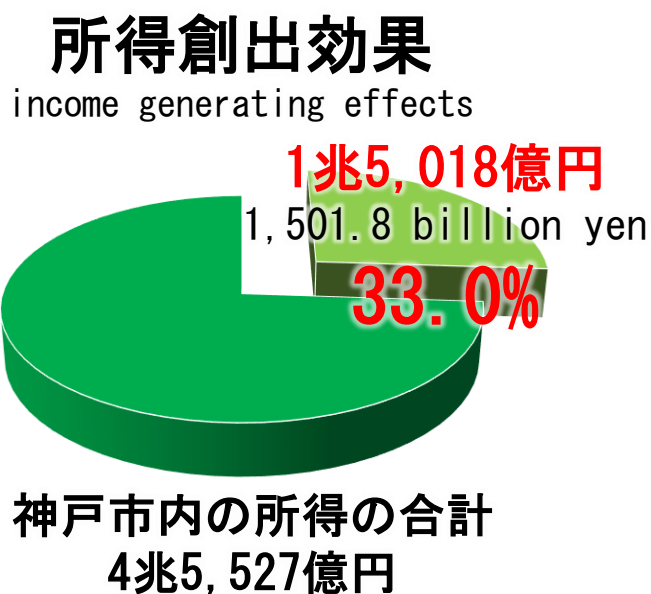
- ・ みなとは人や情報、様々な文化が行き交う我が国の玄関口
- ・ 少子・超高齢化社会による都市間競争が激化

⇒人口減少社会において、魅力・活力ある都市の形成には
港湾エリアの発展が不可欠



(3) 神戸港がもたらす経済効果

- ・ 神戸港による市内の所得創出効果は、**年間1.5兆円(全体の33%)**
- ・ 神戸港に関わる市内の就業者数は、**19.1万人(全体の26%)**



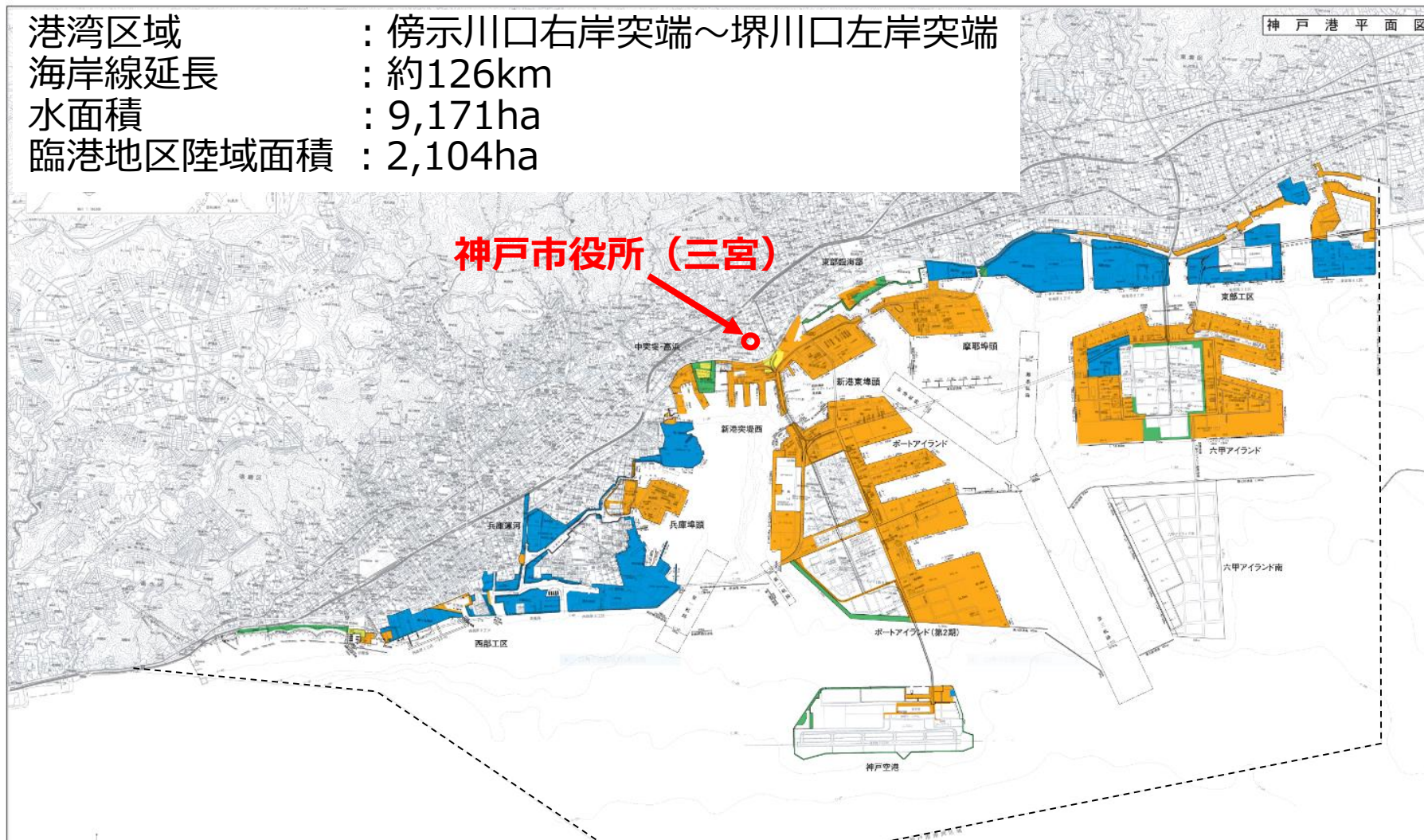
出典：神戸港の経済効果(R2.3公表)

2. 神戸港の紹介



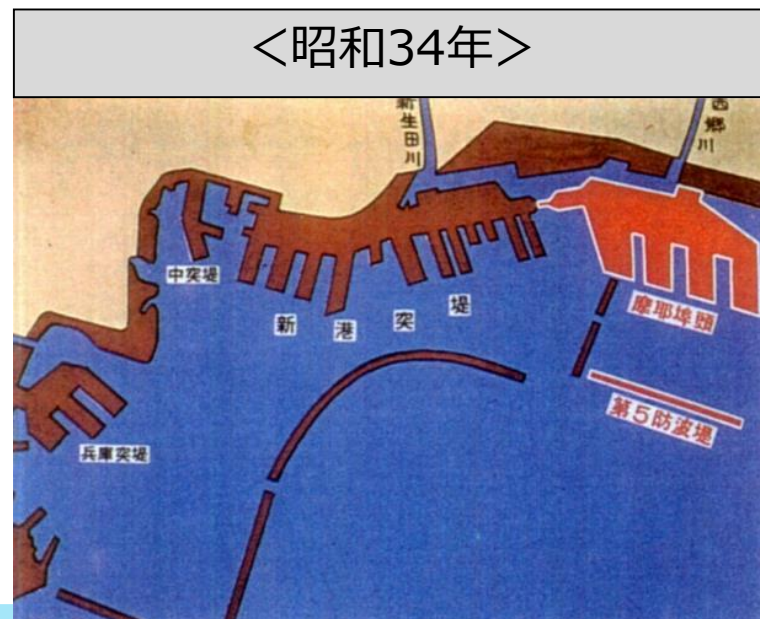
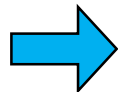
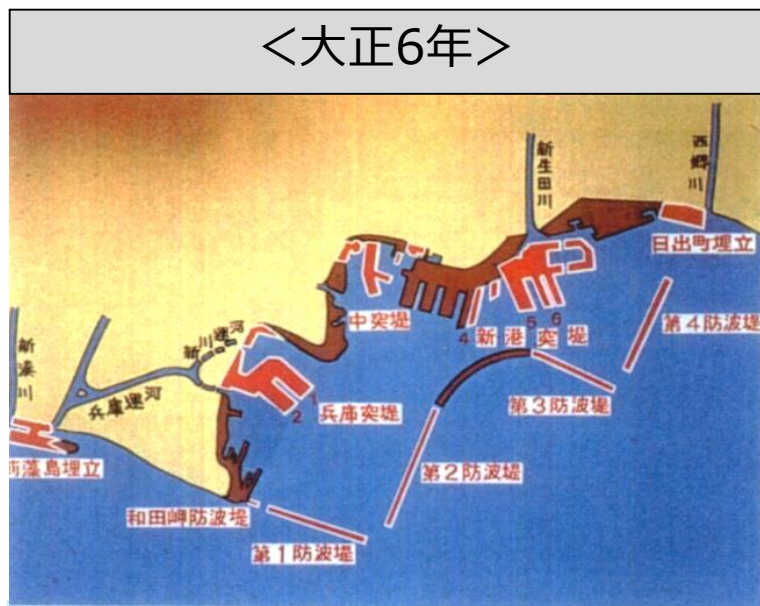
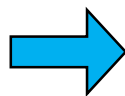
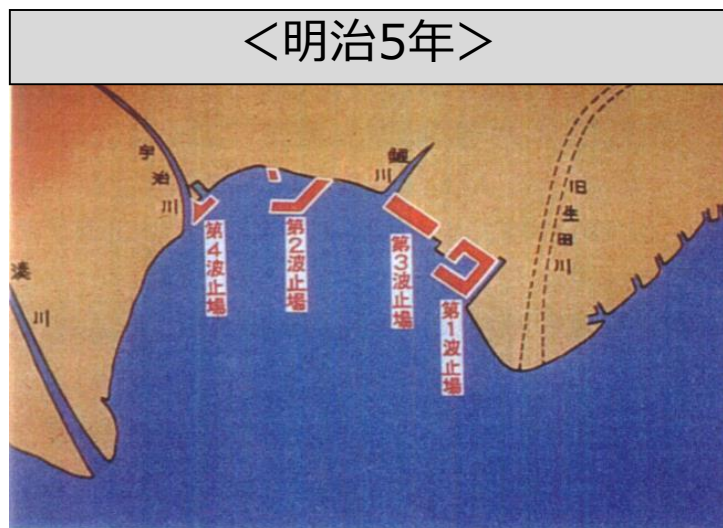
(1) 神戸港の規模

港湾区域 : 俵宗川口右岸突端～堺川口左岸突端
海岸線延長 : 約126km
水面積 : 9,171ha
臨港地区陸域面積 : 2,104ha



2. 神戸港の紹介 (概要や歴史)

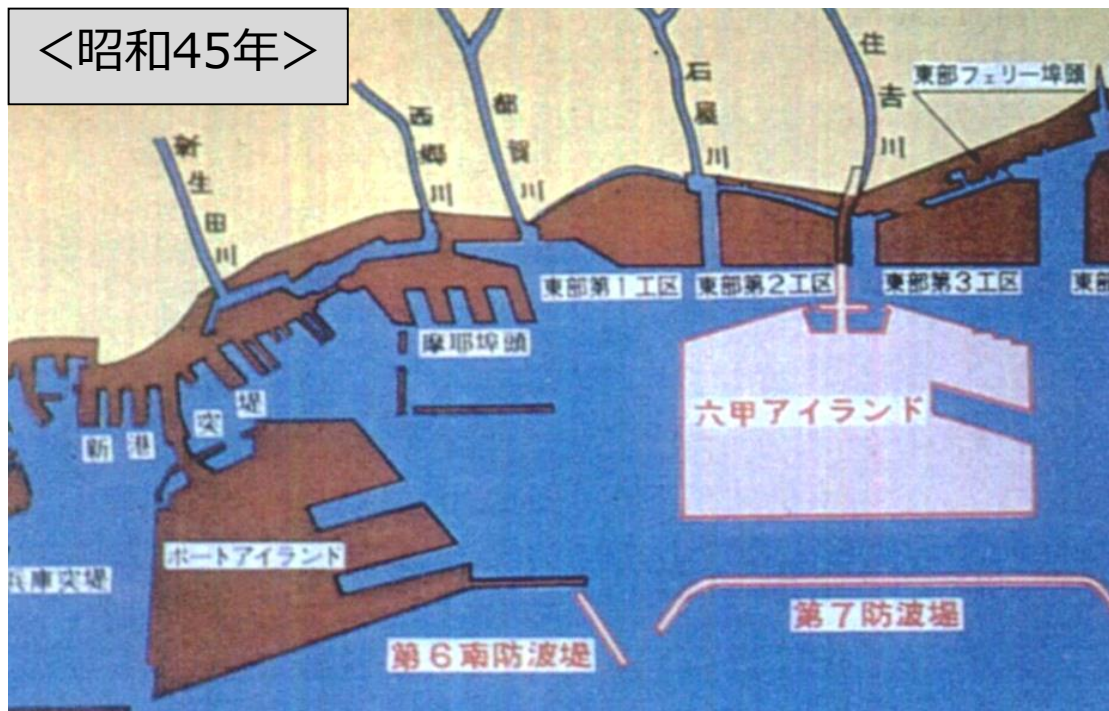
(2) 神戸港の歴史



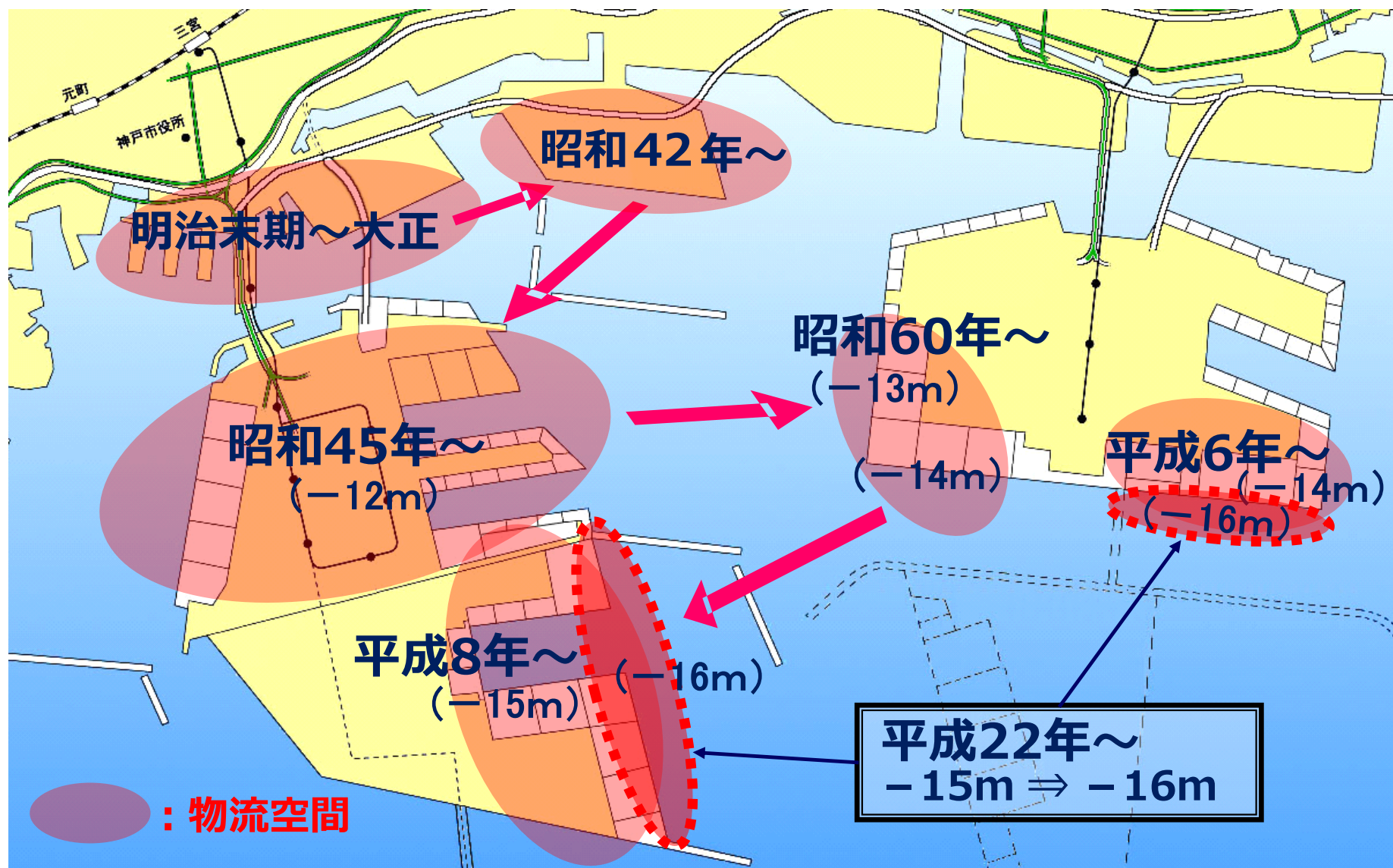
2. 神戸港の紹介 (概要や歴史)

(2) 神戸港の歴史

<昭和45年>



（2）神戸港の歴史【高度経済成長期】

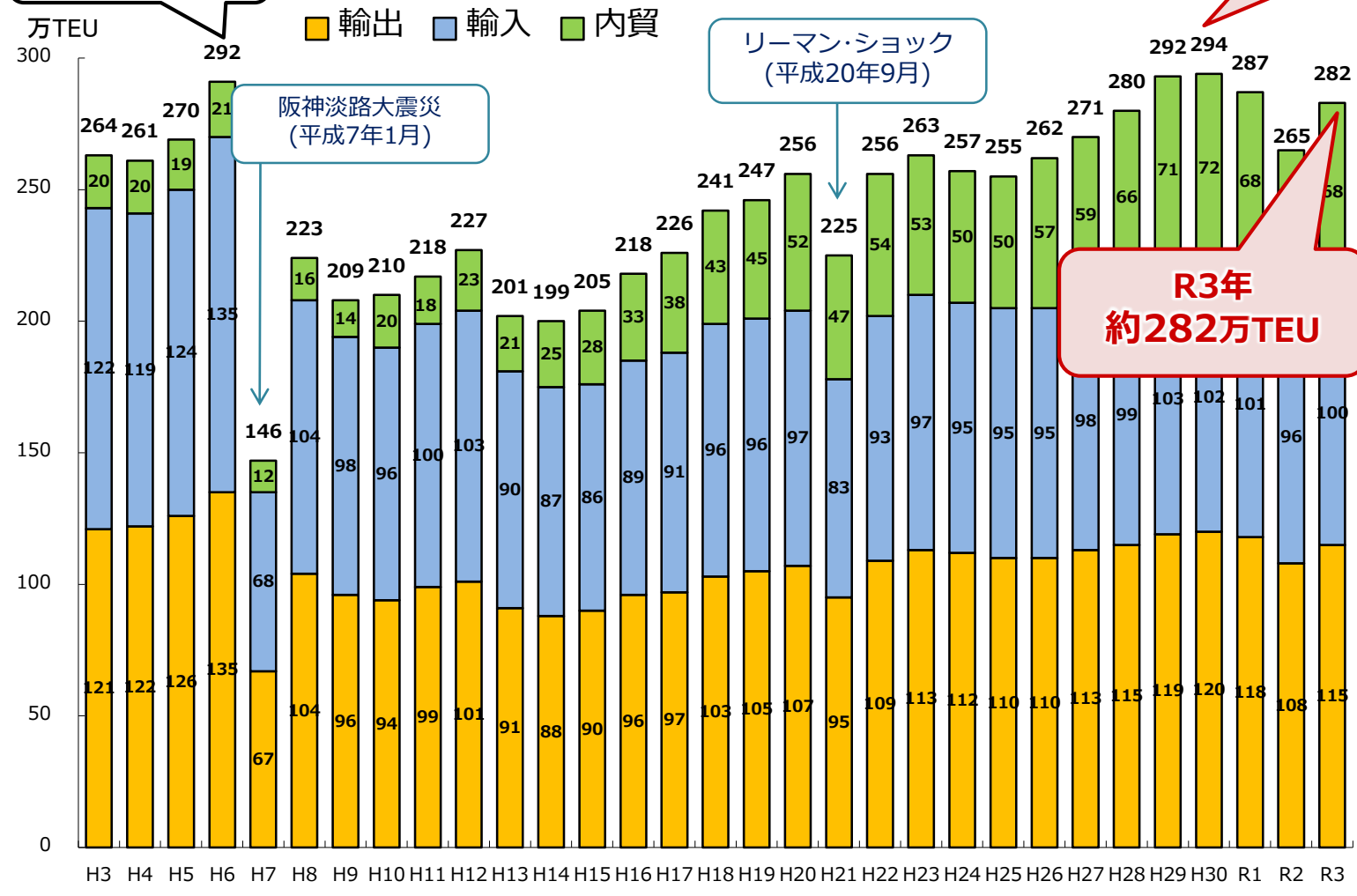


2. 神戸港の紹介 (概要や歴史)

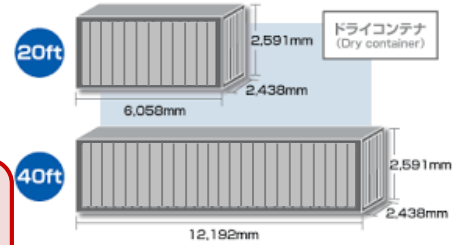
(3) 神戸港のコンテナ取扱貨物量の推移

291.6万TEU
【世界6位】

H30年
約294万TEU
*過去最高

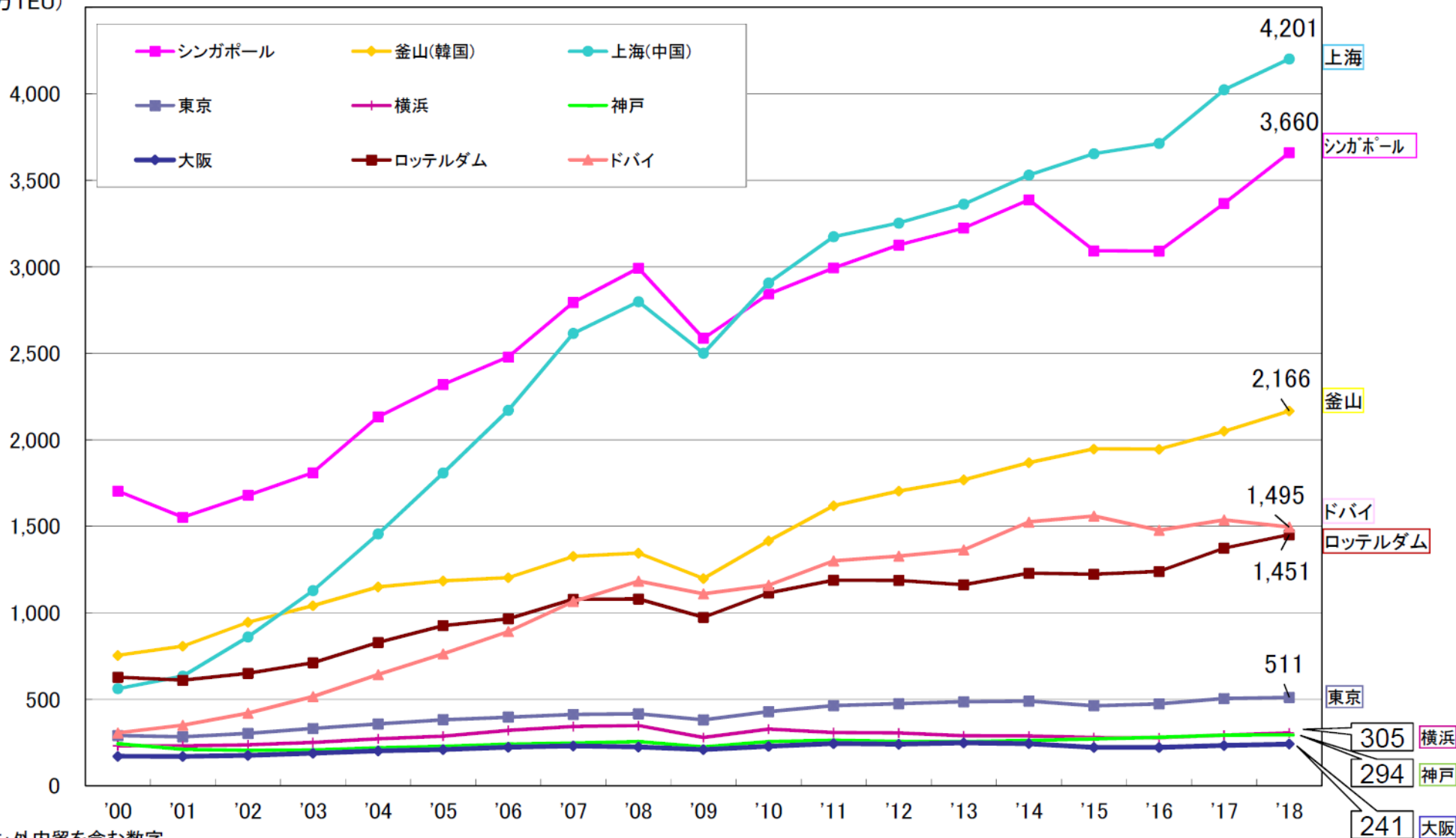


R3年
約282万TEU



(4) 世界主要港のコンテナ取扱貨物量の推移

(万TEU)



注: 外内貿を含む数字。

3. 港湾機能の強化



(1) 神戸港将来構想（平成29年7月策定）

- ・概ね30年後を見据えた、神戸港が目指すべき将来像を示したもの
- ・「港湾・産業」「にぎわい・都市」の分野ごとにコアプロジェクトを設定

神戸港が目指すべき将来像

挑戦・進化を続けるみなと神戸

～新たな価値創造を目指して～



(2) 神戸港中期計画（令和4年12月策定）

- ・将来構想に基づき、今後概ね10年間に取り組むべき内容や方向性を示した計画
- ・「港湾・産業」「にぎわい・都市」の分野ごとに方向性を設定

■ 方向性

「港湾・産業」分野

グローバルサプライチェーンの中で、世界から選ばれ続ける総合物流港

社会情勢の変化	方向性
港湾物流の変化 サプライチェーンの変容 寄港地の絞り込み 新型コロナウイルス等	・ コンテナターミナルの一体利用 ・ 多様な海上輸送モードの充実(在来貨物) ・ 倉庫等の物流施設の更新、高度化
世界的な脱炭素化の動き	・ カーボンニュートラルポート(CNP)の形成
労働力人口の減少	・ AIターミナル形成、DXを通じた生産性や労働環境の向上
自然災害の 頻発化・激甚化	・ 耐震、高潮・津波対策 ・ 神戸港港湾BCPの充実

「にぎわい・都市」分野

非日常の空間を提供し、国内外からの来訪者を魅了するみなと

社会情勢の変化	方向性
人口の減少・流出 都市間競争の激化	・ 都市の魅力を高め交流人口を誘発 ・ 海路・空路を活かしたまちづくり・誘客
大阪・関西万博を はじめとした ベイエリアの活性化	

(3) 国際コンテナ戦略港湾政策

【目指すべき位置付け】

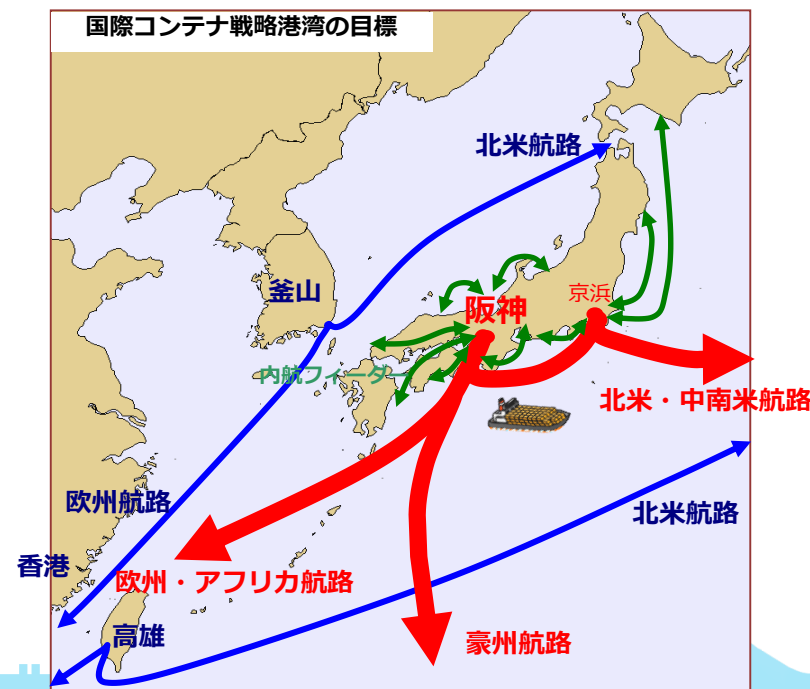
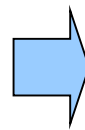
- 国内貨物の集約・コスト低減による基幹航路の維持・拡大
- 中国等アジアの急速な経済発展への対応

【国際コンテナ戦略港湾】

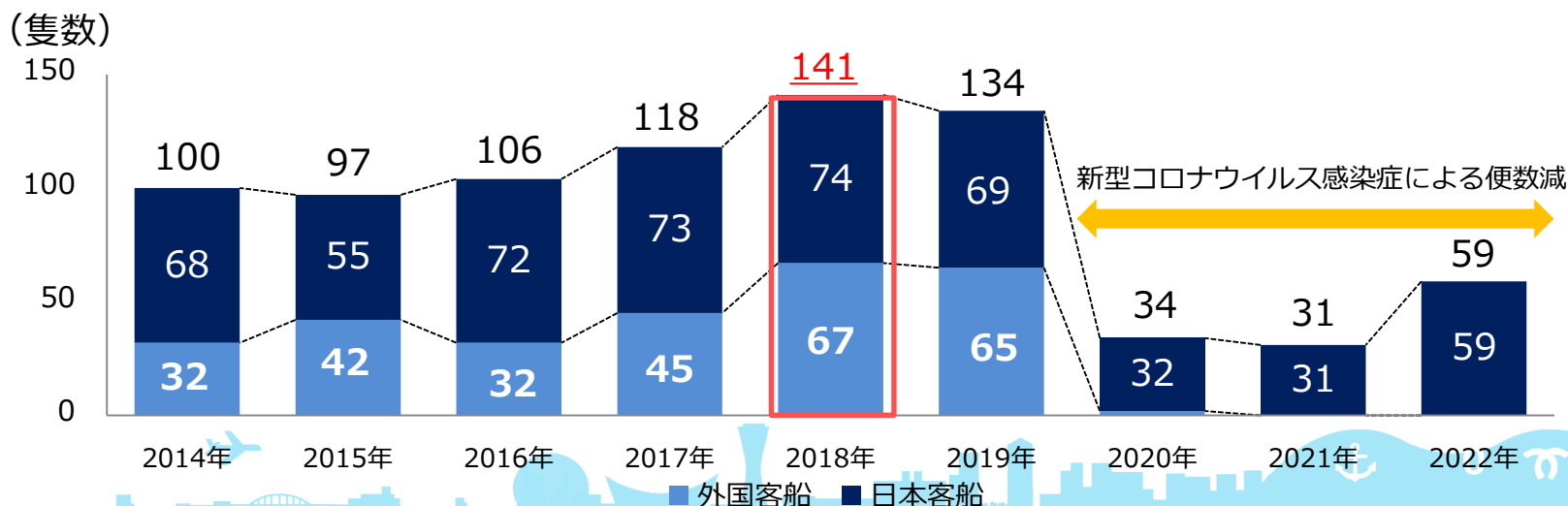
- 港湾におけるコスト低減策の集中
- 基幹航路で運ばれる国内貨物を集約するメインポートを「選択」と「集中」により確立する

【目標】

- 北米・欧州をはじめ、多方面・多頻度の直航サービスの拡充
- アジア発着貨物の国際コンテナ戦略港湾におけるトランシップの促進



(4) クルーズ振興



4. 港湾の脱炭素化



(1) カーボンニュートラルポート (CNP) 形成



4. 港湾の脱炭素化

(2) ブルーカーボンの取組み



シダモク(アカモク)



タマハキモク



ワカメ



5. ウォーターフロント再開発



5. ウォーターフロント再開発（都心WF）

BE KOBE



5. ウォーターフロント再開発（須磨海岸）



②海上航路実証実験



②



①須磨海濱水族園の再整備(2024年完了予定)



①



①



③海上釣り公園整備



6. 神戸空港の国際化

An aerial photograph of a long, covered walkway at an airport. The walkway is enclosed by a black metal fence with a mesh top. To the left of the walkway is a landscaped area with green bushes and a paved path. In the background, a large tarmac area is visible, featuring a white All Nippon Airways aircraft with a blue tail and a yellow star. The sky is clear and blue, and the overall scene is brightly lit.

6. 神戸空港の国際化（1）空港の概要

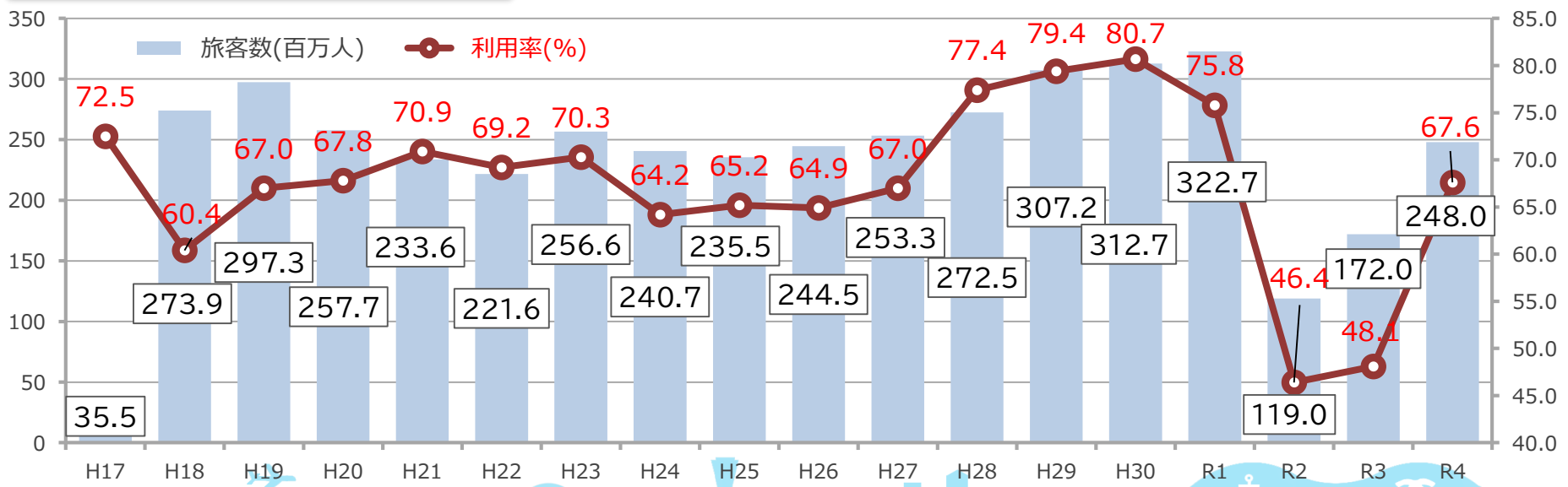
開港日	平成18年2月16日
設置管理者	神戸市
運営者	関西エアポート神戸 (平成30年4月から)
運用時間	7時～23時 (16時間)
アクセス	三宮から約8 km (ポートライナーで約18分) (空港アクセスバスで約22分) 関空から約24 km (ベイ・シャトルで約30分)
滑走路	2, 500m×1本

神戸空港就航路線ネットワーク

令和5年夏ダイヤ 直行便13路線・38往復
※新潟便は運期での運航はせず季節運航



利用状況の推移



※R4年度は令和4年4月～令和5年1月実績

令和4年9月18日に開催された「第12回関西3空港懇談会」において、
将来における神戸空港の国際化と国内線の運用拡大が合意

具体的な合意内容

○2025年

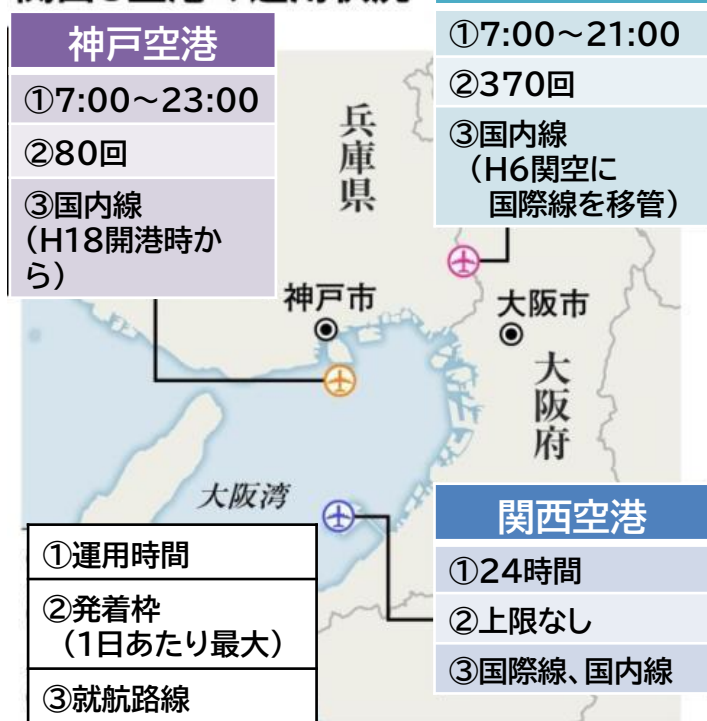
- ・国内線の発着枠を拡大（1日最大80回 ⇒ 120回）

- ・国際チャーター便の運用開始

○2030年前後

- ・国際定期便の運航（1日最大40回）

関西3空港の運用状況



令和5年度の主な実施事業：空港の機能強化

- ・ 空港島将来ビジョン策定
- ・ 空港基本施設整備（エプロン西側拡張）
- ・ サブターミナル整備
- ・ 駐車場、構内道路、周辺計画道路の整備
- ・ 海上アクセスターミナルとの歩行者デッキ整備の検討



	2023年度	2024年度
空港基本施設 (エプロン西側拡張)	工事着手	完了
サブターミナル	設計・工事着手	
駐車場、構内道路		
周辺計画道路	設計・工事完了	

A nighttime aerial photograph of Kobe, Japan, featuring the illuminated Kobe Portland Tower on the right, a large Ferris wheel in the middle ground, and various city buildings and waterfront structures. The text is overlaid in the center of the image.

是非一緒に
未来の神戸港を作っていきましょう！